

果菜類の猛暑対策に!!!

リダバイタルの葉面散布が効果的!



バイオスティミュラント

lidavital®

リダバイタル



1ケース
1ℓ
×
12本入り

液状肥料
登録番号 輸第104922号

POINT
1

高温・強日射ストレス耐性向上!

リダバイタルを使用することで、高温や強日射ストレスにより発生する活性酸素種を減らして作物の被害を軽減します。

POINT
2

着果不良の軽減!

多数のアミノ酸、特にグルタミン酸を多く含有します。高温環境下での生育を改善し、着果不良を軽減します。

POINT
3

作物のダメージ回復!

高温により光合成能が低下した状態でもアミノ酸は直接栄養源となるため、作物のダメージ回復に貢献します。

日本バイオスティミュラント協議会自主基準に基づく表記

BS製品の分類	植物抽出物、タンパク質加水分解物
BSの主たる効果・効能	収量改善、環境ストレス耐性(耐暑性・耐寒性・低照度下での生育・塩害耐性)を高める、有用成分(栄養成分・機能性成分)の改善、成り疲れ改善



OAT アグリオ株式会社

lidavital\リダバイタルはOATアグリオ株式会社の登録商標です。

成分組成

保証成分 (%)					配合成分 亜鉛、モリブデン酸アンモニウム、 テンサイ糖蜜、植物性アミノ酸
窒素 全量	水溶性 りん酸	水溶性 加里	水溶性 マンガ	水溶性 ほう素	
7.5	5.0	4.5	0.15	0.50	

使用方法

作物	使用時期	目的と効果	使用方法
果菜類	梅雨明け以降の 高温時	高温ストレス軽減 着果不良軽減、収量増加	1000倍 葉面散布

使用事例【トマト】

抑制型



梅雨明け以降の猛暑対策として月に2~3回程度、リダバイタル(1000倍)の葉面散布をおすすめします。

促成栽培



猛暑対策として月に2~3回程度、リダバイタル(1000倍)の葉面散布をおすすめします。

POINT トマトを事例としていますが、なす、きゅうり、ピーマンにもおすすめです!

試験事例

着果(花)数および収量調査 (2023年)

	1段果房	1段+ 2段果房	1段+ 2段+ 3段果房	1段+ 2段+ 3段+ 4段果房	1段+ 2段+ 3段+ 4段+ 5段果房	1段+ 2段+ 3段+ 4段+ 5段果房	収穫期間 9/22~11/21 (1段~5段果房)				
	着果(花)数						可販果個数		可販果収量		平均果重
							個/株	対無処理	kg/株	対無処理	g/個
慣行区	0.20	2.66	7.86	12.44	17.32	13.48	12.44	100.0%	1.49	100.0%	119.77
リダバイタル区	0.40	3.00	8.24	11.38	16.90	15.82	14.55	117.0%	1.86	124.8%	127.84
対照剤A区	0.00	0.84	7.16	11.63	18.06	15.59	12.00	96.5%	1.46	98.0%	121.67
対照剤B区	0.42	2.11	8.32	13.05	16.69	15.68	14.07	113.1%	1.75	117.4%	124.38
調査日	8月3日	8月9日	8月22日	8月30日	9月15日	9月25日	—	—	—	—	—

※収穫期間中も処理を行っています。

- 試験場所 茨城県結城市
- 試験期間 8月3日~11月21日
- 作物 トマト(品種:麗貴) ※2023年7月27日定植
- 処理方法 葉面散布
- 処理条件 8月3日・9日・22日、9月15日・25日、10月12日・26日、11月9日・21日にリダバイタル区は1000倍希釈液を1株当たり150ml葉面散布した。対照剤A区とB区は推奨濃度で同様に葉面散布を行った。
- 調査項目 第1段果房から第5段果房までの着果(花)数と収穫期に第1段果房から第5段果房までの収量(個数及び重量)を各区15株調査した。

結果 猛暑時においてリダバイタル1000倍希釈液を定期的に葉面散布することで、増収した。

△ 使用上・保管上の注意

1. アルカリ性資材とは混用しないでください。
2. 肥料以外の用途には使用しないでください。
3. 幼児等の手の届かない場所に保管してください。
4. 使用後は洗眼やうがいをし、皮ふに付着した場合は洗い流してください。
5. 眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
6. 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
7. 静置すると有機成分由来の沈殿が発生することがありますので、よく振って内容物を均一にしてからご使用ください。
8. 他の肥料との混用は、沈殿や結晶が発生しない場合のみご使用ください。
9. 希釈液は腐敗しやすいため、その日のうちに使いきってください。
10. 高温時における日中の使用はさけてください。
11. 氷点下になると結晶が発生したり、高温になる場所(温室など)では沈殿が発生するおそれがありますので、直射日光を避け、密栓し、室内の冷暗所で保管してください。

取り扱い



コールセンター：050-1724-6881 (9:00~12:00, 13:00~17:00 土・日・祝日をのぞく)